第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会実施要項

１　趣旨

近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。

公益社団法人全国工業高等学校長協会（以下「全工協会」という。）では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習成果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画し、これまでに24回開催した。第12回大会からは、全国９地区を順番に開催しており、今回は北海道地区で、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量、溶接の８部門において実施する。

２　日程

第１日　令和８年(2026年)11月14日（土）

９時00分　関係者集合
９時30分　会場等準備
12時00分　受付
12時30分　部門ごと打合せ（説明、練習作業等）
15時00分　来賓・審査員受付
16時00分　開会式
17時00分　解散

第２日　令和８年(2026年)11月15日（日）

８時00分　関係者集合
８時20分　受付
９時00分　競技開始
11時30分　競技終了、片付け、昼食
14時30分　閉会式、記念撮影
15時30分　解散、後片付け

※　なお、旋盤作業部門は11月14日（土）から16日（月）までの３日間で開催するものとし、詳細は旋盤作業部門実施要項を参照のこと。

３　会場

(1) 開・閉会式　各競技会場

(2) 競技会場

部　門	会　場
旋盤作業	北海道職業能力開発大学校 〒047-0292 北海道小樽市銭函3-190　TEL 0134-62-3553
自動車整備	専門学校北海道自動車整備大学校 〒007-0892 北海道札幌市東区中沼西２条１-12-25　TEL 011-790-1205
電気工事	北海道旭川工業高等学校 〒078-8804 北海道旭川市緑が丘東４条１－１－１　TEL 0166-65-4115
電子回路組立	北海道苫小牧工業高等学校 〒053-0035 北海道苫小牧市字高丘6-22　TEL 0144-36-3161
化学分析	北海道札幌琴似工業高等学校 〒063-0833 北海道札幌市西区発寒13条11-3-１　TEL 011-661-3251
木材加工	北海道釧路工業高等学校 〒085-0821 北海道釧路市鶴ヶ岱3-5-1　TEL 0154-41-1285
測　量	北海道帯広工業高等学校 〒080-0872 北海道帯広市清流西2-8-1　TEL 0155-48-5650
溶　接	北海道立苫小牧高等技術専門学院（MONOテク苫小牧） 〒053-0052 北海道苫小牧市新開町4-6-10　TEL 0144-55-7007

４　主催　公益社団法人全国工業高等学校長協会

５　主管　北海道地区工業高等学校長会

６　共催　北海道教育委員会

７　後援　文部科学省　経済産業省　厚生労働省　国土交通省　農林水産省　(公財)産業教育振興中央会
(公財)日本自動車教育振興財団　中央職業能力開発協会　(一社)日本溶接協会　　(順不同)

８　参加資格

(1) 全工協会会員校に在籍し、卒業後の進路先を報告できる生徒とする。

(2) 次の保険に加入していること。なお、②、③の費用については、主催者が負担する。

① 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済
② 産業教育振興中央会賠償責任保険
③ 産業教育振興中央会傷害保険

９　競技部門及び生徒

(1) 競技部門及び出場選手数

部　門	出場選手数		
	各地区選出	開催地選出	計
旋盤作業	9	1	10
自動車整備	9	1	10
電気工事	9	1	10
電子回路組立	9	1	10
化学分析	9	1	10
木材加工	9	1	10
測　量	27（9組）	3（1組）	30（10組）
溶　接	9	1	10
合　計	90名	10名	100名

(2) 出場者の決定

① 出場者は、全工協会が組織する全国９地区及び開催地の校長会から推薦された生徒とする。その選出方法は、該当校長会に一任する。

② 各地区及び開催地から推薦できる出場者を、令和８年(2026年) ９月18日（金）までに、所定の用紙を用いて大会実行委員長まで報告すること。

10　表彰

(1) 各賞の表彰は、部門ごとに行うものとし、全工協会理事長賞を授与する。ただし、各省庁、(一社) 日本溶接協会、(公財) 産業教育振興中央会については申請予定としている。

また、各部門の第１位から第３位は、評価結果を公表し表彰する。それ以外は総合点だけ公表する。

(2) 各部門の第１位から第３位は、ジュニアマイスター顕彰制度の得点として申請することができる。

(3) 各部門の第４位以下については、敢闘賞を授与する。

11　審査

(1) 審査基準の策定と公表

① 審査基準は、事前に策定し公表する。

② 審査員は、審査基準に従い審査判定する。

③ 同点の場合の優先順位は、あらかじめ協議しておく。

(2) 審査員

審査員は、企業の技術者、学識経験者などに委嘱するものとし、各部門３名を基本とする。

12　費用

(1) 大会参加費は無料とする。

(2) 次のように補助金を支給する。ただし、引率教員への補助は行わない。

① 交通費は、一定の割合額を補助する。

② 宿泊費は、一定額を補助する。

13　競技規定

(1) 各競技とも課題に併記する。

(2) 全工協会のWebページに掲載する。

14　その他

宿泊場所は、各自で手配する。

15　問合せ

(1) 公益社団法人全国工業高等学校長協会

（〒102-0072　東京都千代田区飯田橋2-8-1、TEL 03-3261-1500、FAX 03-3261-2635）

(2) 大会実行委員長　北海道札幌工業高等学校　校長　諸橋　宏明

（〒060-0820　北海道札幌市北区北20条西13丁目、TEL 011-727-3341、FAX 011-727-3344）

(3) 大会事務局長　北海道札幌工業高等学校　副校長　佐藤　靖敏

（〒060-0820　北海道札幌市北区北20条西13丁目、TEL 011-727-3341、FAX 011-727-3344）

・運営等に関する問合せ　　monocon-sakko@hokkaido-c.ed.jp

・競技課題に関する問合せ　　monocon-sakko-qa@hokkaido-c.ed.jp

※　問合せについては、公開している「第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会に関する問合せについて」に基づいて行うこと。